

2019年10月2日

**2019年度リレー・フォー・ライフ・ジャパン(RFLJ)「プロジェクト未来」
研究助成金の採択者決定について**公益財団法人 日本対がん協会
会長 垣添 忠生

謹啓

平素は小協会の活動にご理解をいただき、ありがとうございます。

小協会が、がんサバイバーや家族、支援者の方々と一緒に活動しています、がん征圧・患者支援イベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン(RFLJ)」に寄せられた寄付をもとにした表題の研究助成が、9月24日、別紙のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

謹白

RFLJ「プロジェクト未来」研究助成金とは

公益財団法人日本対がん協会(会長・垣添忠生)は、RFLJ に寄せられる寄付を基に、がん研究を助成するRFLJ「プロジェクト未来」研究助成金を2012年に設けました。この助成金は画期的な治療法につながる期待できる基礎的な研究、そうした成果を臨床につなげる研究や患者のQOLの向上などを患者側から支援しようというものです。日本の優れた研究をいち早く患者のもとに届けるため、この助成金を使って欲しいというRFLJ参加者である、患者・家族・支援者たちの切なる願いが込められています。

【助成金】

- ・総額: 1件あたり最高300万円/年(総額1,500万円以内)
- ・対象: がんに関する基礎研究・臨床研究、患者・家族のケアに関する研究
- ・選考: 日本癌学会、日本癌治療学会、日本臨床癌腫瘍学会の協力のもと、同会員、RFLJボランティア実行委員代表らで構成する選定委員会で審査する。

「リレー・フォー・ライフ(RFL)」とは

RFLは1985年、アメリカの一人の医師が、「がん患者さんに生きる勇気と希望を抱いてもらえる様、自分に何かできないか。」と考え、24時間走り続けたことが始まりです。そして「がん患者は24時間、がんと闘っている。」というメッセージを掲げ、がん患者のための資金を集めるため、トラックを1周する毎に寄付を募りました。

日本では日本対がん協会がACSからライセンス認可を受け、2006年に茨城県つくば市で試行し、2007年から本格的に開催し、その後年々増え、2019年度は48か所でのリレーイベントの開催が予定されています。

がん征圧・患者支援のための寄付を募るのが主目的ですが、がんの正しい知識の啓発、患者・家族・支援者・医療者の方々の交流の場にもなっています。

この件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

■日本対がん協会 リレー・フォー・ライフ・ジャパンチーム 担当:平野(電話 03-3541-4771)

以上

リレー・フォー・ライフ・ジャパン(RFLJ)「プロジェクト未来」研究助成金 2019年度 採択者

I 分野(基礎研究・臨床研究) 合計:1,050万円

(五十音順、敬称略)

申請者名	所属	申請テーマ	助成金額
市原 英基 (イチハラ エイキ)	岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科	EGFR 遺伝子変異陽性肺がん分子標的治療における tolerant 細胞を標的とした根治的新規肺がん治療法の開発	100万円
加藤 洋人 (カウ ヒロ)	東京大学大学院 医学系研究科・衛生学分野	がん浸潤 B 細胞の個性に着目した新しいがん免疫療法の開発	150万円
北川 雅敏 (キタガワ マサシ)	浜松医科大学 医学部医学科・分子生物学講座	がん細胞の運命の制御を実行する長鎖ノンコーディング RNA の解析と医学応用	100万円
園下 将大 (ソノダ マサヒロ)	北海道大学 遺伝子病制御研究所・がん制御学分野	新規膵臓がんモデル動物を用いた薬物療法の開発	100万円
立石 健祐 (タテイシ ケンスケ)	横浜市立大学大学院 医学研究科脳神経外科学	脳悪性リンパ腫の微小腫瘍環境形成機構の解明と同機序に基づく新規薬物治療の開発	100万円
早河 翼 (ハヤカワ ツバサ)	東京大学医学部附属病院 消化器内科	Tgf 経路依存性消化管浸潤癌の進展機序解明と治療応用	100万円
藤田 雄 (フジタ ユウ)	東京慈恵会医科大学 内科学講座呼吸器内科	免疫チェックポイント阻害剤における新規コンビネーション診断薬の開発	100万円
前川 大志 (マエカワ マサシ)	愛媛大学プロテオサイエンスセンター 細胞増殖腫瘍制御部門	コムギ無細胞タンパク質合成系を利用した HER2 陽性乳癌に対する新規分子標的薬の開発	100万円
増田 万里 (マスタ マリ)	国立がん研究センター研究所 細胞情報学分野連携研究室 増田グループ	骨肉腫患者に新たな治療選択肢を;TNIK 阻害剤による骨肉腫分化転換誘導を介した新規治療薬の開発	100万円
見立 英史 (ミタテ エイシ)	長崎大学病院 口腔外科	人工知能 (AI) による口腔細胞診の診断システムの開発:AI による口腔細胞診の診断基準の確立に向けて	100万円

II 分野(患者・家族のケアに関する研究) 合計:450万円

(五十音順、敬称略)

申請者名	所属	申請テーマ	助成金額
上別府 圭子 (カミベツフ ケイコ)	東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻・家族看護学分野	2つの命ー妊娠期がん患者家族の経験と望ましい意思決定支援	50万円
小嶋 リベカ (コジマ リベカ)	国立がん研究センター中央病院 緩和医療科	未成年の子どもがいる若年がん患者のニーズに沿った支援を行う医療者向け教育プログラムの開発	50万円
品岡 玲 (シナオカ アキラ)	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 人体構成学	癌治療後リンパ浮腫の画像病期分類とそれに応じた複合的理学療法プロトコール作成ー治療効果を維持したまま患者負担を減らすー	50万円
島津 裕 (シマツ ユタカ)	日本赤十字社和歌山医療センター 血液内科	多発性骨髄腫に対する治療補助システム(アプリケーション)の開発	50万円
高津 美月 (タカツ ミツキ)	がん研究会 有明病院 臨床遺伝医療部	遺伝性腫瘍診療におけるオンライン相談の普及と病診ネットワークの構築	50万円
平山 貴敏 (ヒラヤマ タカシ)	国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科	AYA 世代がん患者の交流サロン「AYA ひろば」開発	50万円
藤森 麻衣子 (フジモリ マイコ)	国立がん研究センター 社会と健康研究センター健康支援研究部	若年がん患者の支援に関するニーズ調査	50万円
三木 いずみ (ミキ イズミ)	国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門	SCRUM-Japan 研究における患者・市民参加型臨床研究の基盤構築	50万円
守田 亮 (モリタ リョウ)	秋田厚生医療センター 呼吸器内科	医療過疎地域における、病院間での多職種チーム形成によるがん診療ネットワーク構築の研究	50万円